

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
飯田市	南信濃地区(中川原)	令和4年2月28日	

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	3.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	3.2ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	0.9ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.4ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	0.2ha

### 2 対象地区の課題

農業者の高齢化が進んでおり、今後の経営に関しては維持、縮小・離農の意向の農業者が多い。地区内の認定農業者も少なく、75才以上で後継者未定の農業者の耕作面積0.9haの農地の遊休化を防ぐには、新たな農地の受け手の確保、省力化が可能な品目の導入など、農業者の減少に対する取組が必要。高齢者が農地として維持していくために栗や胡桃といった果実や市民農園として管理していくことも必要と考える。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中川原地区の農地利用は、中心経営体である認定農業者2経営体を中心となり担っていく。また、高齢者クラブが維持管理を請け負いながら、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	野菜・水稻	0.4 ha	野菜・水稻	0.1 ha	中川原地区
その他	B	野菜・水稻	0.4 ha	野菜・水稻	0.1 ha	中川原地区
認農	C	野菜・水稻	0.2 ha	野菜・水稻	ha	中川原・押手地区
計	3経営体		1 ha		0.2 ha	

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<b>農地の貸付け等の意向</b> 貸付け等の意向のある農地は、畑80aとなっている。
<b>農地中間管理機構・農地バンクの活用方針</b> 耕作できない農地については、中心経営体への集積・集約化を目指し、農地中間管理機構に貸し付けていく。または市の農地バンクに登録する。
<b>新規・特産化作物の導入方針</b> 軽量品目であり、傾斜地、平地のどちらでも栽培できる南天やほおずき等の花木類の栽培の普及に取り組む。比較的管理のしやすく、高齢者でも農地を維持しやすい、栗や胡桃等の栽培に取り組む。
<b>鳥獣被害防止対策の取組方針</b> 猟友会の協力を得て有害鳥獣の駆除を行うなど捕獲体制の構築等に取り組む。
<b>多様な担い手の誘致・育成の取組方針</b> 就農希望者や地域外からの参入者の相談に応じ、住宅、農地等の紹介を行うとともに、農業経営の安定や地域への定着に向けた支援に取り組む。 担い手を探す間については南部高齢者クラブ等による管理を行い地域コミュニティの維持を図りつつ農地保全に取り組む。 中川原水稻生産者組合の作業委託等や和田水路組合による農地や作業の維持。